

令和4年度 第1回 介護福祉学科 教育課程編成委員会 報告書

日時：令和4年8月8日（月）10：00～11：30

場所：zoom形式

参加者名

委員 大久保 佳世（社会福祉法人はるび 特別養護老人ホームはるびの郷施設長）

委員 佐々木 幸（日本介護福祉学会・日本社会福祉学会）

教員 石川 秀志（教務部長 兼 介護福祉学科総括学科長）

教員 細野 真代（介護福祉学科学科長）

教員 岡本 啓介（介護福祉学科教員）

職員 星 朋美（教務課係長）

職員 鈴木 慶紀（教務課）

議題：

1、はじめに

冒頭、司会の細野より今年度の入学者数と、前回の教育課程編成委員会で決まった以下を前期に実施したことを共有した。また、後期もこの内容を引き続き実施して、その他に地域連携の認知症カフェを実施予定であることを報告した。

① 企業連携

介護ICT/IoT/ビックデータ(元施設長や元介護職出身が講師)と、高齢者の運動指導についての講義。

②卒業生との連携

生活支援技術の授業で実施。

2、2024年度に向けての魅力あるカリキュラム編成について

今年度の入学者数は、日本人が少ない状況になっているため、日本人の入学者数増加につながる当校の魅力づくりについて、話し合われた。

石川) 今後は、現在実施している特別講義等を含めた当校の魅力づくりとその発信方法を検討し、育成人材像を明確にしていく必要がある。

[求められるスキルについて]

細野) まずは、卒業後の出口の部分として、現場はどういった技術・スキルを求めているのか。

[各出席者からの意見]

大久保委員) 現場は、人物像を重視しており、特にコミュニケーション能力が必要。説明や理由を求められた際に、相手にしっかりと伝えられる人材を求めている。

[今後の特別講義について]

細野) 他校で行っているプラスの講義はあるか。又は学生から「こんなカリキュラムがあったら良い」等の声を聞いたことがあるか。

[各出席者からの意見]

佐々木委員) 特別講義は、どこも同じような内容の講義が多いため、テーマや内容だけでなく、それを学ぶ目的や学んだあとにどのように成長してもらいたいかというビジョンを教員側が考えて共有することが大切ではないか。明確なビジョンがあると、学生の成長や変化を検証して次の展開もしやすい。例えばICTの機能だけを紹介するのではなく、それによってチーム内のコミュニケーションがどう向上するか等、ワークやディスカッションを取り入れても良い。また、現場で活かしやすい環境を作ることも大切であるため、企画を連携施設で試し協議をしていくことも良いだろう。

細野) これまではやって終わりで繋がりがなかったが、今回企業の紹介で、ICTを取り入れた実習先が増えた。このような繋がりを増加できるようにしていきたい。また今後は、学生にとって「どのような意義と成長をもたらしたのか」等のアンケートを取って特別講義をブラッシュアップしていきたい。

[魅力の発信について]

岡本) 特別講義は、介護の基礎ができている卒業生や企業に来校いただいている。そのため、その魅力としては「現場の経験があるからこそ、この技術と能力があり、管理職になることができる。」と伝えることができ、学生にとってキャリアアップの道筋になること。あとは当校の歴史を交えて伝えていければ良いと考えている。

[各出席者からの意見]

佐々木委員) 将来を見せることは良いが、上昇志向が強い学生には、キャリアアップのメリットを伝えつつも、日々の実践の積み重ねや繋がりを示すことが大切で、教員側もそこをしっかりと押さえておく必要はある。

大久保委員) 現在は、現場上がりの施設長は増加傾向であり、介護の基礎ができている管理職が多い。介護のキャリアアップとして、多くの施設では介護職 → 生活相談員、ケアマネジャー → 施設長というキャリアアップモデルが出来上がっている。職種が変わることによって「介護の行く着くところ」いわゆる「介護のプロ」になることが難しくなっている。

また、今後の福祉の課題は、今まで介護に興味を持つ時期として、中学校での職場体験等があったが、新型コロナウイルスの蔓延で実施できていない。その状況から、福祉・介護分野の仕事を知ることができないことが課題。

細野) 当校としてもその課題は感じており、小学校や中学校に出張授業に出向いて「介護」を知ってもらう機会を設ける必要性はあると考えている。今後はこれを含めて、介護のキャリアアップのことや「介護のプロ」に繋がるようなカリキュラム編成をしたい。

石川) 今後は、当校なら「こういう介護福祉士になれる、こういった技術を習得できる」等の育成人材像を明確にして「介護のプロ」を目指すことができるように育成していく。

まとめ

- ・現場で求められているスキルは、説明や理由を求められた際に、相手にしっかりと伝えられるコミュニケーション能力がある人材。
- ・特別講義は、学ぶ目的や学んだあとにどのように成長してもらいたいかを考えることが大切。今後は特別講義をブラッシュアップさせるため、学生へのアンケートを実施することを検討する。
- ・キャリアアップの道筋として、特別講義で将来を見せることも必要だが、今やっていることの積み重ねや繋がりを見せることが大切で、基礎ができているからこそ現在の立場になっていることを伝えていく。
- ・当校の魅力の発信として、現在は介護に興味を持つのは、小学校や中学校の時期であるため、出張授業を行うことを検討する。また 2024 年度に向けて、人材育成像を具体的に打ち出して、「介護のプロ」になれる人材を育成していくカリキュラム編成を行う。

以上